

西中学校区 保幼小中連携通信

グローイングアッププラン 3年目 「点から面でつながる連携」

第3号 令和元年 7月 12日 発行責任者 吉岡 吾郎（春日小）
三原 健太郎（郡小）上垣内 匡志（畑田小）

6月11日合同研修会

今年度、1回目の小中合同研修が実施されました。たくさんの方に西中学校に来ていただき、学習の様子を見ていただきました。

その後の研修会では、まず西中学校 野村校長よりご挨拶いただき、西中が大切にされているJ4（授業の準備に関する観点）・J3（授業作りの観点）についてお話していただきました。

市教育委員会 キャリア担当の門田指導主事からは「キャリア教育とはどういったものなのか」「なぜ今、キャリア教育の視点が大切なのか」を説明していただきました。少子高齢化による生産年齢人口の減少やAI等の技術革新など、社会が大きく変化している今だからこそ、自分で自分の未来を創造し、目標を設定して生きていける子どもたちを育成していくことが大切なんだということを強く感じました。

西中学校 キャリア担当の後藤先生からは具体的に今年度どのように取り組みを進めていくのかお話しいただきました。各学校・各学年で新しいことをするのではなく、今年度の取り組みの中で中心に据えるものを考え、その前後でアンケートや目標設定の実施をしてほしいというお話でした。

最後に講師として、NPO法人JAEの塩見さんからキャリア教育に関してご講演いただきました。「人にはいろんな立場や役割があり、その一つ一つにいろんなキャリア教育があること」「目指す子ども像があって、その通過点である小学校・中学校において、今ある取り組みのねらいをもっとわかりやすく可視化することが大切」だとおっしゃっておられました。

またキャリア教育を進めていく上で地域の大人が繋がり、ともに前を向くことが重要だとも強く言われていました。地域の方々により協力してもらうためにも、学校から具体的にねらいや



目指す子どもたちの姿を詳しく伝えていくことが大事なんだと感じました。

ご講演の中で、学校間を超えてグループを組み、交流する時間がありました。自分の学校のことを伝えたり、他校の実践を聞く中で先生方お一人おひとりにとって、きっと得るものもあったかと思います。

今年度、ここをスタートとして西中校区でキャリア教育推進事業を進めていくことになります。改めて先生方、一年間よろしくお願いいたします。



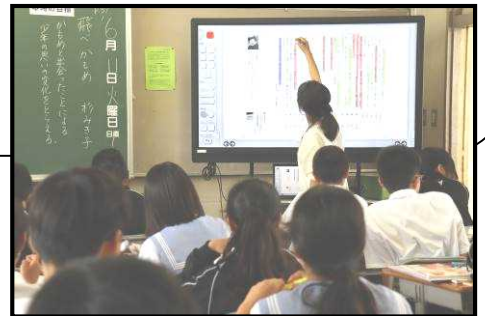
アンケートより

① 公開授業をご覧になられて、どこで子どもたちが小中の段差を感じると思われましたか？

- ・授業によって板書の量が多く感じたので、苦手な子どもにとっては段差を感じるかもしれません。
- ・先生によって授業のスタイルが違うところ。教科書やノート、ファイル、資料集など扱う学習用具が多く感じました。また、授業 1 時間に扱う問題量も多く感じました。
- ・自分の意見をすぐに伝えたりする機会が多くあったので、じっくり時間を考え書いてから発表することが多い小学校との違いを感じました。挙手よりも、指名で授業を進めていくところが違うように感じました。
- ・授業展開が大きく違うのでギャップを感じる子どももいるのではないかと思います。その他、校種が変わることで、子どもにとってたくさんの変化があるので、保幼小中と情報交換を密にして、より段差を少なくしていけたらと思いました。
- ・西中全体として J4・J3 的なことをどの小学校でも取り組んでいますので、以前より段差は少なくなっているように感じました。
- ・恥ずかしさ？からくるのか発言や発表が少なく感じたので、自分にもっと自信がもてるように小学校から取り組んでいきたい。
- ・とてもいきいきしていました。(中1) うまく小中接続ができているのではないかと思います。ありがとうございます。国語で、もっと生徒同士の交流があれば盛り上がりそうと感じた場面がありました。
- ・クラスの人数がかなり多いので、それも段差になりそうです。話を聞く時間がどうしても長くなってしまうので(内容的に)小学校の授業とギャップがあるかなと思いました。
- ・鑑賞でワークシートに書く量が倍以上に増えている。小学校では 5 行で精一杯だった子どもが 15～20 行程度の感想や考えを書くとすると、かなりハードルが高くなると思った。

② 西中授業スタンダードを基にした授業を見て、思ったことなど

- ・目標（めあてを明確にする）は伝わっていたと思う。伝える所は、班で活動する所でよく見られた。考える、ふりかえるは、先生によって違いがあると感じた。（同じ教科、学年でも）
- ・J4、J3が生徒と教師の全員で共通理解があると思いました。「本時の目標」などという黒板の掲示がどのクラスでも共通にあったのでわかりやすいと感じました。
- ・授業に対する姿勢がよく、J4のもとメリハリをもたせながら「初め」「終わり」の切り替えがしっかりとなされていました。
- ・J4、J3は授業の基本だと思いますので、この取り組みは大切にすべきだと思います。ただし、班活動の際に6人班は少し人数が多いかなと感じます。4人班のグループ学習が追求できるよう検討できたらと思います。（より活発な議論ができると思います。）
- ・J4、J3の他にも小学校で取りくめることは取り入れたい。小学校の間につけておける力があれば知りたい。
- ・一斉授業の中で学習していくには、自分で考え、活動していくことが大事だと思いました。自分で聞いて、活動を始めることをもっとできるようにしてやりたいと思います。
- ・ITCの取り入れ方がとても勉強になりました。教科書を写したり、マーカーで印をつけたりなど私も取り入れてみたいと思いました。ありがとうございました。



③ キャリア教育の研修を受けて、大切にしたい、意識したいと感じたこと。

- ・将来めざす姿について子どももしっかり共有しておくことが大切だと感じました。子どもへの声かけも「何のために、」を意識させられるように私自身も意識しておきたいと思います。
- ・目標に合った取り組みを考えていく必要があったように感じた。いつも目標を掲げているが、キャリアの視点を入れた動きや考えを意識的に取り入れて行けるといいなと思う。
- ・この3年間以上、西中学校校区で公開授業を見せてもらえる機会をもてて、同じ方向に進めているのは大変良いことだと思います。卒業した子どもたちの様子も分かります。
- ・自分で考えて行動することができるために、子どもたちの現状をしっかりと知ることや、なっていて欲しい状態を考えていく必要があるなと思いました。
- ・子どもたちが置かれている立場（役割）を考えた上での指導をする。「なぜそれをする、それがよいのか」を伝えて、子どもに考えさせながら活動を行うこと。
- ・「日々の教育活動の1つ1つが子どもの成長につながっていくこと。」系統的な取り組み、地道な取り組みが長期的に見ると子どもの成長につながると信じ、粘り強く続けていきたい。

- ・取り組みの狙いを可視化して、狙いそのものを子どもたちに伝え、何のためにこの取り組みをするのか意識する、させることが大切というのはわかりやすかったです。単発にならず、つながりがあることで「これってこういうことか」という理解も生まれるだろうと思った。
- ・校区内で出されている目指す子ども像を意識して指導していきたい。しかる時、ほめる時になぜそれがいいのか、未来にどうつながっているのかの一部を伝えることを意識したい。

2019 年度 西中学校水泳部による

小学校への訪問指導



今年の夏休みも西中学校の水泳部員が各小学校へ訪問し、高学年の児童に水泳指導を行います。今年訪問させていただくのは以下の通りです。

毎年、水泳部の小学校訪問を行っています。小学生には連合水泳大会へのモチベーションアップへつながっていると思います。中学生にとっても、後輩に教えることで、どういう言葉を使えば相手により伝わるのかを考える良い機会になっています。今年も水泳部員には頑張っている経験をしてほしいです。

- | | | | |
|--------|----------------------|----------------------|-------|
| ○ 郡小 | 7月25日(木) | 8:40 ~ 10:10 | |
| 部員: | 寺次、廣瀬、松塚 | 掛川、中野、塩田、岡田、杉浦、木村、竹島 | |
| | (郡小卒) | | (他校卒) |
| ○ 春日丘小 | 7月25日(木) | 11:15 ~ 12:15 | |
| 部員: | 下家、松尾、奥野、筒井、樋口 | 杉井、福留、四方、永井、井口 | |
| | (春日丘小卒) | | (他校卒) |
| ○ 春日小 | 7月26日(金) | 10:50 ~ 12:30 | |
| 部員: | 掛川、中野、塩田、岡田、杉浦、木村、竹島 | 寺次、廣瀬、松塚 | |
| | (春日卒) | | (他校卒) |
| ○ 畑田小 | 7月26日(金) | 11:20 ~ 12:10 | |
| 部員: | 杉井、福留、四方、永井、井口 | 下家、松尾、奥野、筒井、樋口 | |
| | (畑田小) | | (他校卒) |

